重点目標を達成するための行動計画

今年度の重点課題

・気持ちのよい言語環境の充実に努める。
・自己肯定感を高め自分のよさに気づくとともに、友達のよさを認めることができる子どもを育てる。
・読書活動を推進し、読解力を高めるとともに豊かな情操をはぐくむ。
・基本的生活習慣の定着や望ましい食習慣の形成、外遊びの奨励を図り、健康に対する関心を高める。
・伝える力を鍛え、考えを練り上げ高め合う授業を目指すとともに、学習したことが活用できる力を育成する。
・漢字や計算など基礎学力を確実に身に付け、自分の考えをまとめることで、学習内容の定着を図る。

学校、学年たより等で今年度の重点課題や取り組みについて理解を求める。

保護者・学校評議員に説明し、協力を依頼する。

こ【心豊かに】

① 人にやさしい言葉遣い
・進んであいさつ・あったか言葉
・心に響く校内環境の整備
＜毎週月曜日にしあわせ運動を行い、進んで大きな声であいさつをする杉っ子を増やす。（達成率 90%）＞

② 心・いのちの教育の充実
・命を感じる飼育・栽培活動
・豊かな心をはぐくむ読書活動の推進
・縦割り活動によるふれあい
・地域の方とのふれあい
・自己肯定感の高揚
＜推薦図書を活用し、目標冊数達成児童を増やす。＞
＜年間1回は、外部講師や保護者、地域の人等を招いて道徳の学習をする。＞

す【進んで体づくり】

① 基本的生活習慣の確立
・ゲンキッズ作戦で実態把握し「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化
・食を通して進んで健康管理
＜年間1回は、栄養教諭や地域の人と連携を図りながら食に関する指導を実施する。＞

② 運動の習慣化
・外遊びの奨励（毎月 15 日・30 日は杉っ子元気タイム）
＜「みんなでチャレンジ3015」の達成率 95%を目指す。＞

ぎ【きらきら輝いて】

① 互いに学び高め合う学級づくり
・話し合い活動の工夫
＜「話す」「聞く」のスキルの活用や、ペア・グループ学習等、学習形態の工夫により、自信をもって自分の思いを伝える杉っ子を育てる。＞

② 学習内容の定着
・基礎学力の定着化
＜チャレンジテスト合格（80 点以上）95%以上を目指す。＞
・ノート指導の充実
＜学習の流れや自分の考えが分かる整理されたノートづくりを目指し、学期に1回は工夫されたノートを掲示する。＞
・学年の目当てに応じた家庭学習 ＜進んで家庭学習に取り組む。（達成率 85%）＞

一学期 夏季休業中 二学期 三学期 次年度

・ 中間評価を実施し、結果を分析し後期の努力目標を設定する。（教職員、児童、保護者）
・ アンケート結果の分析と後期の努力目標の設定並びに方策の検討
・ ホームページや学校だよりでの評価結果の公表と後期努力目標の報告

こ【心豊かに】

こころ部会で改善策を提案し、課題を踏まえた具体的な取り組みを実践 （心・いのちの教育担当者、図書主任、代表委員会・掲示担当者が中心となって）

す【進んで体づくり】

進んでからだづくり部会で改善策を提案し、課題を踏まえた具体的な取り組みを実践 （生徒指導主事や体育主任、保健主事、養護教諭、栄養教諭が中心となっ

ぎ【きらきら輝いて】

きらきら部会で改善策を提案し、課題を踏まえた具体的な取り組みを実践 （研究主任、教務主任、学年主任が中心となって）

年度末評価を実施する。（教職員、児童、保護者、地域の方）

学校評議員に成果と課題を報告

学校たよりやホームページ等で成果と課題を報告

次年度の重点目標と具体的施策の検討

計画1 ↓ 行動1 ↓ 評価1 ↓ 計画2 ↓ 行動2 ↓ 評価2 ↓ 計画3